

1次関数 (3)

直線の式

たとえば、1次関数 $y = 2x + 3$ のグラフを直線 $y = 2x + 3$ ということがある。

また、この式 $y = 2x + 3$ を直線の式ということがある。

直線の式の求め方

① 傾きと、通る1点の座標から求める

式 $y = ax + b$ に傾き a を代入し、さらに通る1点の座標を代入することで、 b の値を求める。

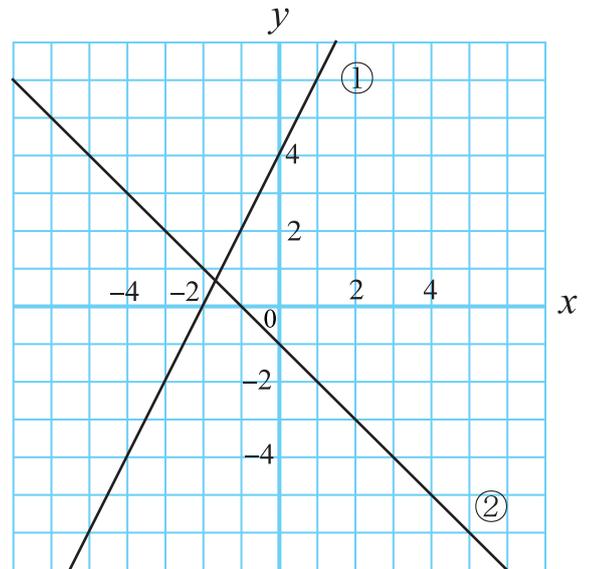
切片がわかる場合は、式 $y = ax + b$ に傾き a と切片 b を代入すればよい。

② 通る2点の座標から求める

2点の座標を式 $y = ax + b$ に代入すると、 a と b についての連立方程式を作ることができる。

この連立方程式を解くことで、 a と b の値を求める。

【1】右の図の直線①、②の式を求めなさい。



答え 直線①

直線②

【2】次の直線の式を求めなさい。

(1) 傾きが2で、点(4, 3)を通る直線。

(2) 2点(2, -2), (-1, 7)を通る直線。

答え 直線(1)

直線(2)